高１　HR研修

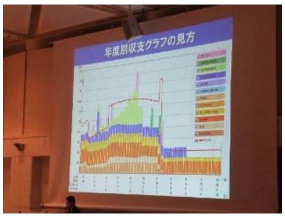
高校１年生のHR研修のうち、先日は「女性としての人生」と題した講演会についてご紹介しました。HR研修全体としては、

- 「女性としての人生」「キャリアデザインと大学選び」をテーマとした４つの講演会
- ライフプランニング体験授業、
- 夏休み中に参加したインターンシップでの体験を発表・共有する会
- １学期から取り組んできた「哲学プログラム」の一環である「哲学Night」
- 「LIFE」をテーマとして達成できるか分からないことにクラス全員で取り組むクラス活動

など、盛りだくさんの内容でした。全体を通した生徒の感想をご紹介します。

「すべての講演会の話を聞いて、それぞれ目標や目的があって、それを目指して計画を立て、努力をしてきたのだと思った。特に印象に残ったのは『棚からぼたもちが落ちてくるのを待つのではなく、自分で取りに行ってチャンスを自分のものにする』という話だった。チャンスを自分のものにしてステップアップしていけば、目的や目標により近づくことができると思う。また、話を聞いて、将来への見通しが少しできたので、２学期からは、これまでよりももう少し頑張ってみようという気持ちになれた。」

「全ての方の講演をふまえて、私は選択が人生の中で大きな鍵となっていると思いました。なぜなら、就職、転職、結婚、出産、就学など、人生では選択をしなくてはならない場面がたくさんあることを知ったからです。講演をしてくださった方々は、とても短い期間で考えて選択をしている人が多かったです。より良い選択を短期間でするためには、将来について考えておく、すなわちビジョンを持っておくことが必要だと思いました。」

「講演をしてくださった人の共通点は、みなさん自分の道を突き進んでいらっしゃる点です。また、多くの人が人生は山あり谷ありだとおっしゃっていました。私は目先のことばかりに気をとられていますが、今やっていることは長い人生の一部でしかないのだと気づきました。何かを信じて行動を起こさないと何も始まらないのだと反省しました。一番心に残っている言葉は『できるかできないかではなく、やるかやらないか』です。」

４日間を通して「自分はどう生きたいのか」「自分の核とは何か」を考えてきました。自分なりのビジョンを持って、毎日を過ごしていってほしいと思います。